

令和6年度

総合教育センター・子どもと親のサポートセンター 研究発表会

主題

特別支援教育における主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT機器の利活用に関する研究～自立活動の視点に着目して～

千葉県総合教育センター
特別支援教育部

1

報告

内容

- 1 主題設定の理由
- 2 研究の目的及び研究計画
- 3 研究の概要
- 4 今年度の取組
- 5 次年度の方向性

千葉県総合教育センター

2

1 主題設定の理由

各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について（令和2年9月）文部科学省

視点2 障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服するために、

ICTを活用する視点

⇒自立活動の視点

新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議（令和3年1月）文部科学省

ICT活用等による特別支援教育の質の向上

教師のICT活用スキルの向上

第3次千葉県特別支援教育推進基本計画（令和4年3月）千葉県教育委員会

ICTの利活用による教育の質の向上

ICTの利活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現

ICTを利活用した学習活動の充実

千葉県総合教育センター

3

1 主題設定の理由

令和4年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）
（令和5年10月）文部科学省

教員のICT活用指導力

	千葉県	全国平均	順位（/47）
授業にICTを活用して指導する能力	76.5%	78.1%	26位
令和4年度中にICT活用指導力の各項目に関する研修を受講した教員の割合	61.6%	73.0%	46位

第3次千葉県特別支援教育推進基本計画（令和4年3月）千葉県教育委員会

【目標値の設定値】

目標項目	現状 （令和2年度）	中間目標 （令和8年度）	目標 （令和12年度）
県内特別支援学校において児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合	73.7%	90%	100%

千葉県総合教育センター

4

2 研究の目的及び研究計画

(1) 研究の目的

県内の特別支援教育において、ICT機器の効果的な利活用により、主体的・対話的で深い学びを実現し、子供たち一人一人の学びをどのように深めているか現状を把握し、**自立活動の視点に着目した授業実践におけるICT機器の利活用に関するモデルケース**を提案する。

障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服する視点



千葉県総合教育センター

5

2 研究の目的及び研究計画

(2) 研究計画

【令和6年度】

- 1 質問紙調査と結果の分析
- 2 実態把握に基づく実践事例集（骨子案）の作成

【令和7年度】

- 1 調査研究協力校での実践を通して、実践事例を作成
- 2 実践事例集の編集・調整

ICT機器の利活用のための**実践事例集**の完成
→県総合教育センターWebサイトに掲載

千葉県総合教育センター

6

3 研究の概要

(3) 令和6年度

- 1 ICT機器の利活用に係る質問紙調査と結果の分析
→自立活動の指導を踏まえたICT機器の利活用の現状を把握
- 2 実態把握に基づく実践事例集（骨子案）の作成
→調査結果から、現場のニーズに基づく実践事例集（骨子案）を作成
- 3 調査研究協力校における実践
→実践事例集（骨子案）の検証

実践事例集（骨子案）の完成

千葉県総合教育センター

7

4 今年度の取組

(1) 講師及び調査研究協力員

ア 講師・調査研究協力員

講師：国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部
主任研究員 織田 晃嘉 氏

協力員：教育庁教育振興部特別支援教育課 指導主事 1名
県立特別支援学校 教諭 5名
市町村立小学校・中学校特別支援学級 教諭 5名

イ 調査研究協力員会議

年3回（7月、11月、1月）
研究計画説明、調査内容検討及び結果報告、授業実践等

千葉県総合教育センター

8

4 今年度の取組

(2) 質問紙調査について

ア 調査名

特別支援教育における、主体的・対話的で深い学びを実現するためのICT機器の利活用に関する研究～自立活動の視点に着目して～に関する調査

イ 目的

県内の特別支援学校及び県内知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級を設置する小学校・中学校・義務教育学校における自立活動の視点に着目したICT機器の利活用に関する課題を明らかにするとともに、その課題解決の一つとして実践事例集の作成のための基礎資料とする。

千葉県総合教育センター

9

4 今年度の取組

(2) 質問紙調査について

ウ 調査対象

- 小・中学校特別支援学級（知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級）の担任
- 県内の特別支援学校の学級担任

エ 質問内容

- ICT機器の利活用に係る質問 15問
- 自由記述 3問 計18問

※ICT機器：インターネットに接続できる機器として回答を求めた

オ 回答方法

- ちば電子申請サービスによるWeb回答

千葉県総合教育センター

10

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

【回答数】 全回答790件のうち、有効回答数773件を分析対象

【内訳】 学校種、年齢、特別支援教育経験年数

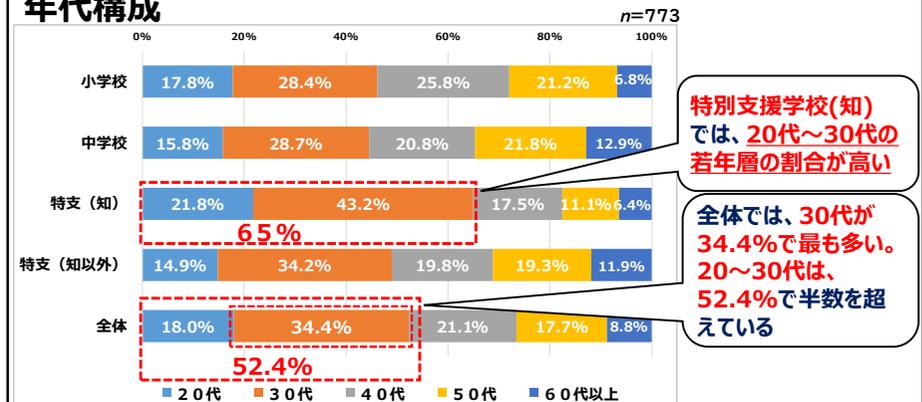
学校種	小学校	中学校	特（知）	特（その他）		
	236	101	234	202		
	436					
年齢	20代	30代	40代	50代	60代～	
	139	266	163	137	68	
特別支援教育経験年数	1年	2～3年	4～5年	8～10年	11～17年	18年以上
	62	117	181	95	191	127

千葉県総合教育センター

11

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

年代構成



特別支援学校(知)では、20代～30代の若年層の割合が高い

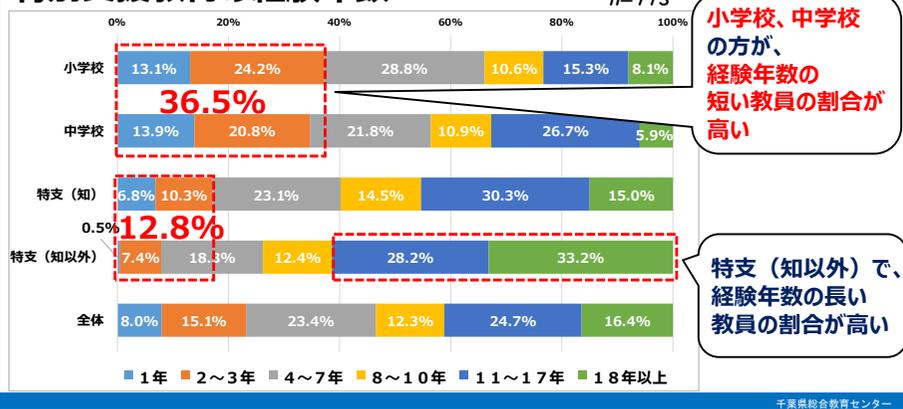
全体では、30代が34.4%で最も多い。20～30代は、52.4%で半数を超えている

千葉県総合教育センター

12

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

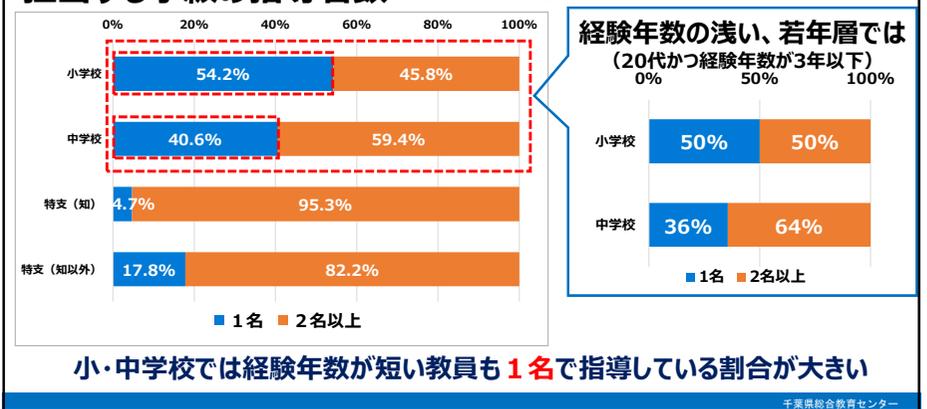
特別支援教育の経験年数



13

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

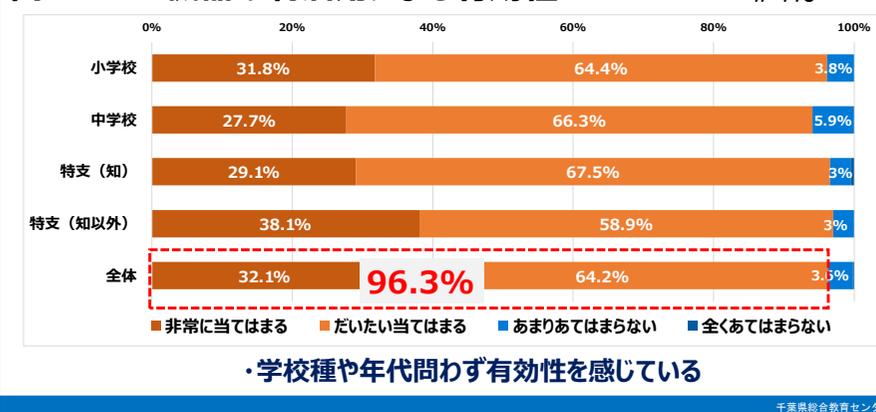
担当する学級の指導者数



14

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

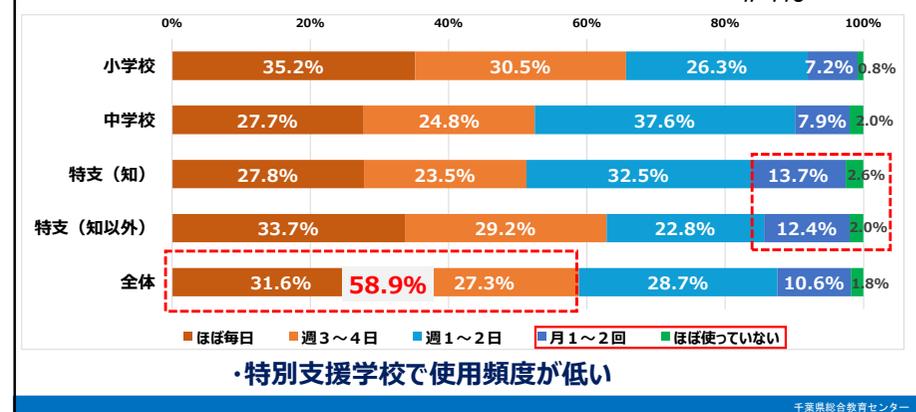
問1 ICT機器の利活用による有効性



15

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

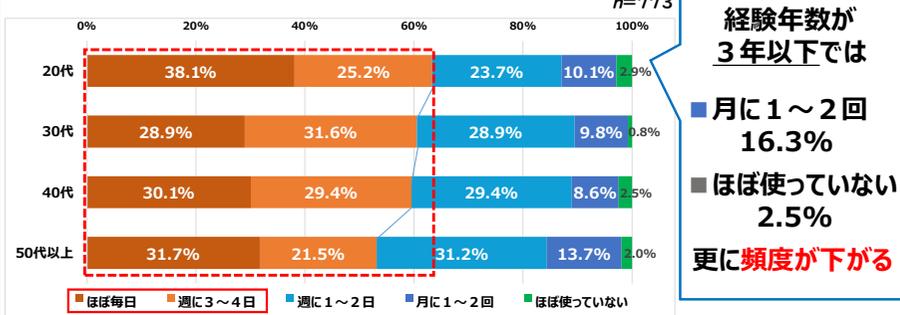
問3 ICT機器を利用する頻度



16

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問3 ICT機器を利活用する頻度



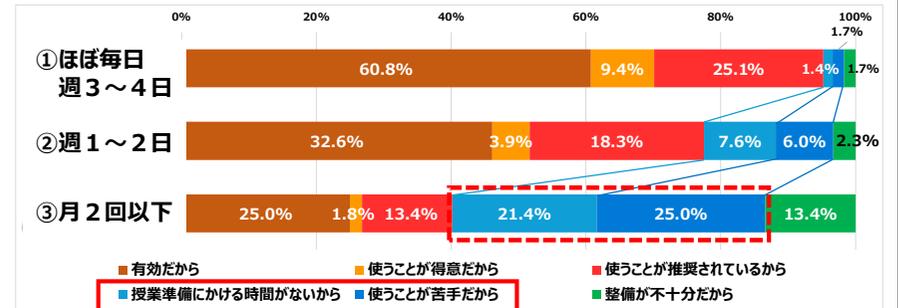
- ・年齢が上がるほど、利活用の頻度が下がっていく
- ・経験年数が浅い若手教員の利活用の頻度も低い

千葉県総合教育センター

17

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問4 ICT機器を利活用する頻度（問3）の理由



- ・月1~2回、ほとんど使っていない層は、**苦手意識**や**時間がない**ことが大きな理由となっている

千葉県総合教育センター

18

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問6 ICT機器を利活用した授業をする場合、メリットに感じていることは何ですか

n=773

共通点

1. 視覚的に分かりやすい
2. 児童生徒の興味・関心を引きやすい
3. 個別学習がしやすい
4. 授業の効率が上がる

- ・学校種が異なっても、メリットに**共通点**がある



千葉県総合教育センター

19

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

相違点

n=773

	具体的な活用方法と	具体的なメリット	視覚的支援の具体例
小学校	視覚支援	興味・関心	動画、画像
中学校	具体的な学習ツール (漢字、動画教材等)	教材準備の効率化、 生徒の主体的学習	タブレット、電子黒板等 を用いた具体的な学習 方法
特支	個々のニーズに応じた 支援	遠隔学習	視覚障害、聴覚障害の ある生徒への支援方法

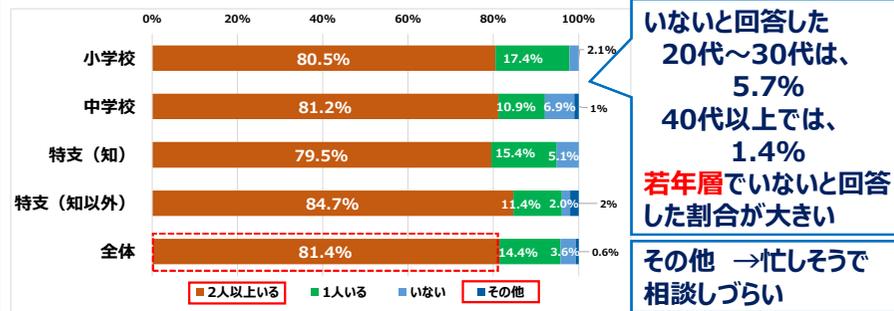
- ・小学校では**視覚的**、中学校では**具体的な場面**での活用方法、
特別支援学校では**専門性**の高い使用が見られる

千葉県総合教育センター

20

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問7 ICT機器の利活用に関して、相談できる人の有無 n=773



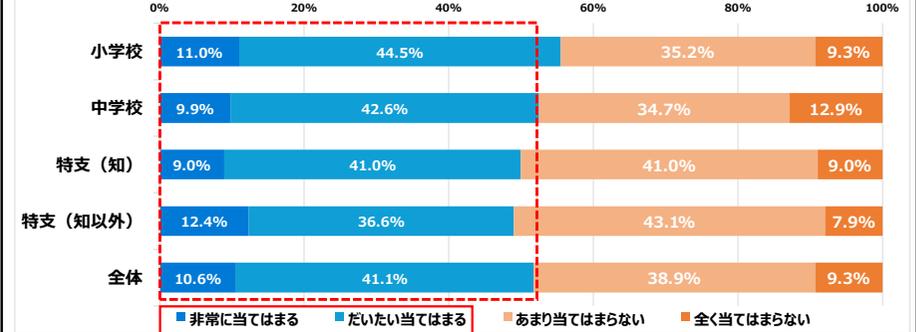
- 相談できる人の割合は高いが、中学校では約7%が「いない」と回答
- 忙しそうとの理由で、相談を躊躇してしまう状況がある

千葉県総合教育センター

21

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問8 ICT機器を使うことに負担を感じたことがありますか n=773



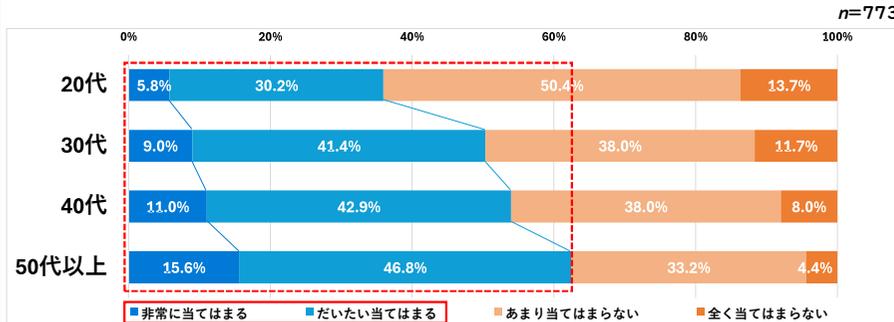
学校種を問わず、約50%がICT機器の使用に負担を感じている

千葉県総合教育センター

22

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問8 ICT機器を使うことに負担を感じたことがありますか n=773



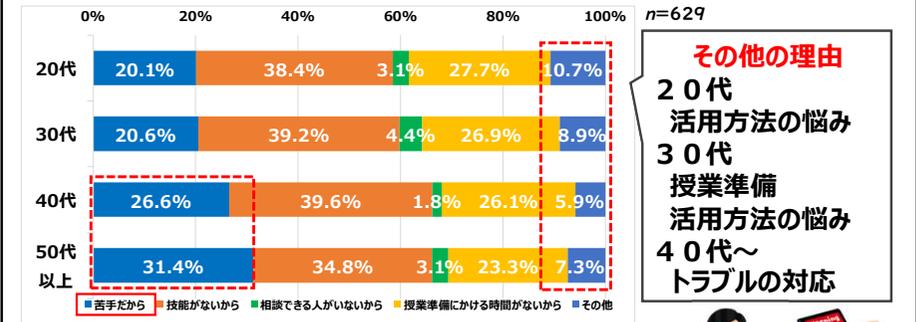
年代が上がるほど、負担を感じている割合が増える

千葉県総合教育センター

23

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問9 どのような理由で負担を感じていますか（複数回答） n=629



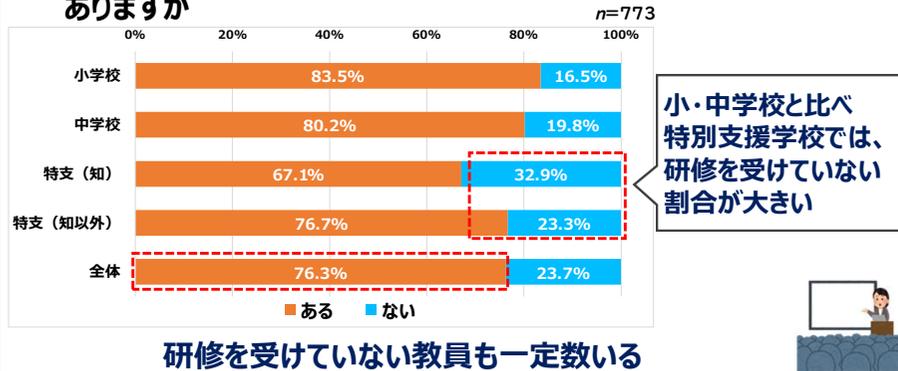
20~30代 : ICT機器の知識をどう生かすか
40代~ : ICT機器の操作の不安

千葉県総合教育センター

24

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

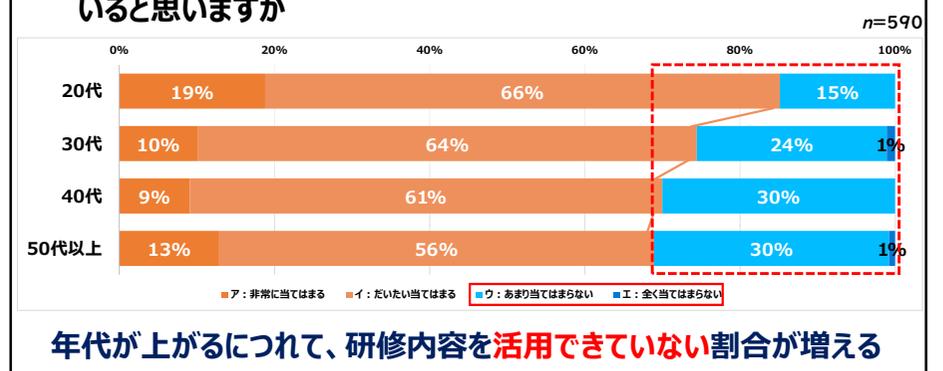
問10 過去2年間にICT機器の利活用に関する**研修**を受講したことがありますか



25

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問12 研修で学んだICT機器の利活用の技能が身に付き、活用できていると思いますか



26

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

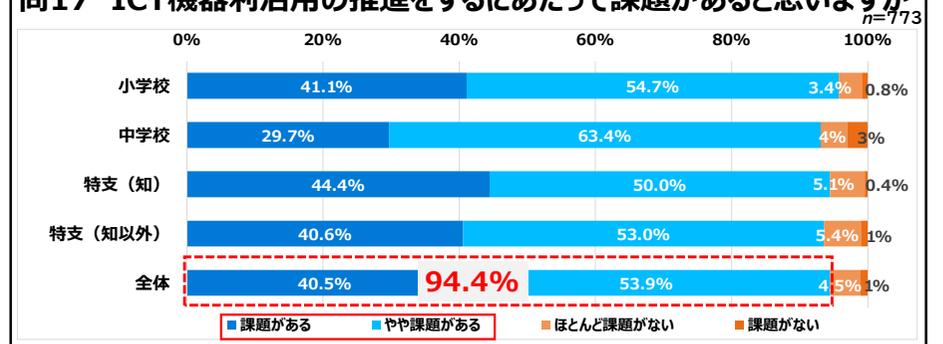
問13 問12で、あまり当てはまらない、全く当てはまらないを選択した理由

- n=590
1. 生活指導の中で活用する**場面が多くない**
 2. 活用するまでの**技能が達していない**
 3. 研修内容と実務内容が**かみ合っていない**
 4. 学んだ技能を使う**場面があまりない**
 5. 授業でICTを**活用できていない**
- 千葉県総合教育センター

27

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問17 ICT機器利活用の推進をするにあたって課題があると思いますか



28

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

問18 ICT機器利活用の推進をするにあたっての課題

n=773

<課題があると回答>

1. 教員のスキルと準備に関する課題
2. 教材やコンテンツに関する課題
3. 生徒の利用方法に関する課題
4. サポート体制と研修の不足



千葉県総合教育センター

29

自立活動の視点を踏まえたICT機器の利活用に関する調査

調査結果のまとめと次年度の方向性



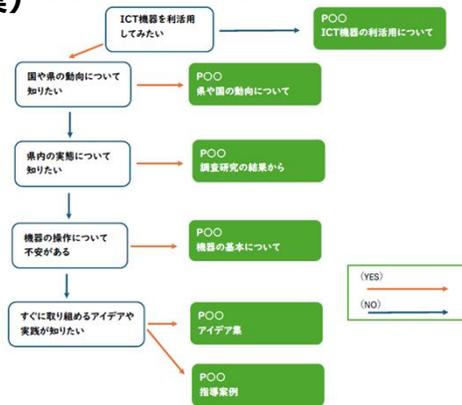
千葉県総合教育センター

30

5 次年度の方向性

実践事例集（骨子案）

ICT機器利活用のためのフローチャート



千葉県総合教育センター

31

5 次年度の方向性

実践事例集（骨子案）

②発達障害とICT

発達障害のある子供たちが示している困難さに対する支援や、障害特性を考慮した指導を充実させるツールとして、注目されています。

主な機器としては、パソコン、タブレット PC、電子黒板といった機器や、プリンタ、プロジェクタ、液晶テレビ、ディスプレイといった周辺機器などがあります。これらの機器を、障害特性や発達の段階等に応じて活用することで、指導や支援を充実させることが可能です。

たとえば、次のような困難さを、ICTの活用で支援できます。



3 国や県の ICT 機器利活用についての状況

- (1) 新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議
新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議
- (2) 第3次千葉県特別支援教育推進基本計画
[suishinseibi.pdf \(chiba.lg.jp\)](https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shinisei/suishinseibi.pdf)
- (3) 千葉県学校教育情報化推進計画
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shinisei/n.pdf>
- (4) 教育の情報化に関する手引（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/z

千葉県総合教育センター

32

5 次年度の方向性

実践事例集（骨子案）

すぐに取り組めるアイデアや実践が知りたい

→

P〇〇
アイデア集

P〇〇
指導案

〇〇〇〇の ICT 機器利活用
ICT 機器の利活用による学習支援①

★タイトル

サブタイトル

＊内容

＊写真・図版①

＊写真・図版②

◎ICT 機器利活用のポイント①

◎ICT 機器利活用のポイント②

◎児童生徒の反応及び指導の効果

千葉県総合教育センター

5 次年度の方向性

実践事例集（骨子案）

〇〇学校・〇〇科「単元名：～しよう」
 (〇段階・〇年生)
 ＊ICT 機器利活用の根拠

⑥単元の指導計画(〇〇時間)

過程	時	学習内容・学習活動

⑧ICT 機器利活用の様子

①授業の目標・ねらい

②対象児童生徒について

③ICT 機器類
 ④ソフト・アプリケーション等
 ⑤ICT 機器利活用のポイント 活用の主体(教師・児童生徒)

⑦授業の展開

学習活層	具体的な配慮や手立て	備考

⑨ICT 機器利活用にあたっての準備・配慮事項

⑩児童生徒の様子

千葉県総合教育センター